

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2024年7月～9月期 NO. 76

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2024年7月～9月期の業況は▲0.2、前期比 6.6ポイントマイナスと厳しさを強めました。
来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期	2024年10月～12月期予想	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期	2024年10月～12月期予想	2024年4月～6月期	2024年7月～9月期	2024年10月～12月期予想
業況	6.4	▲0.2	3.3	8.5	▲1.8	2.2	3.0	3.6	5.1
売上額	12.4	8.0	10.4	12.5	9.9	8.8	11.7	9.4	13.0
収益	4.0	2.5	5.0	5.1	2.2	1.5	2.9	5.8	9.8
販売価格	23.2	18.2	14.0	26.5	20.6	15.4	18.2	16.7	12.4
仕入価格	45.5	37.1	32.4	53.5	39.3	34.2	37.7	32.6	28.6
在庫	0.2	▲2.2	▲1.6	1.0	▲1.5	▲1.0	▲3.1	▲3.1	▲2.0
資金繰り	0.3	1.2	10.9	▲0.4	▲2.2	9.9	2.9	4.7	14.5
人手	▲22.3	▲21.6	▲23.0	▲27.8	▲29.3	▲30.6	▲17.5	▲13.9	▲15.0
設備状況	▲10.3	▲9.7	▲10.4	▲10.7	▲9.5	▲10.4	▲8.9	▲8.0	▲8.6

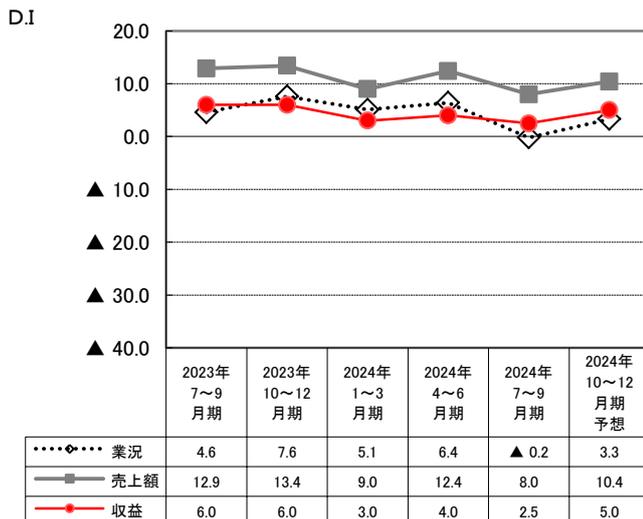
2024年7月～9月期実績

《 不動産業で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲0.2、前期比6.6ポイントマイナスと厳しさを強めました。
全地域の業種別では不動産業において上向きました。

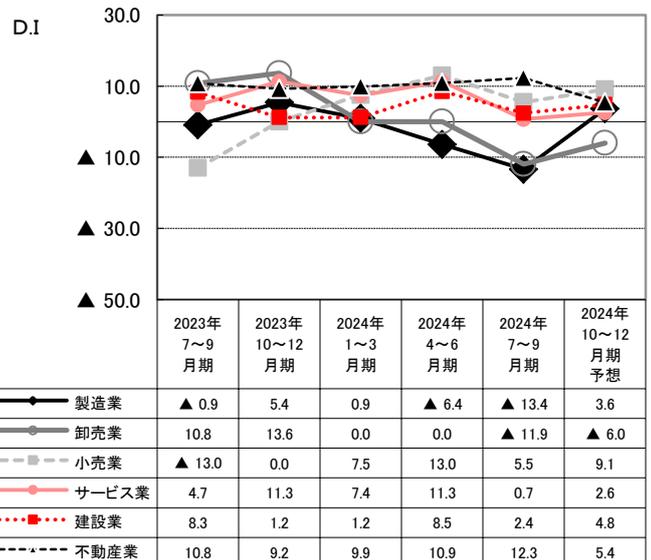
2024年10月～12月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは3.3、当期比3.5ポイントプラスと好転する見通しです。
全地域の業種別では、不動産業以外の業種において堅調に推移する見通しです。地域別では、両地域とも上向き見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2024年9月上旬

3. 調査対象期間

2024年7月～9月期実績（2024年4月～6月期との比較）

2024年10月～12月期予想（2024年7月～9月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

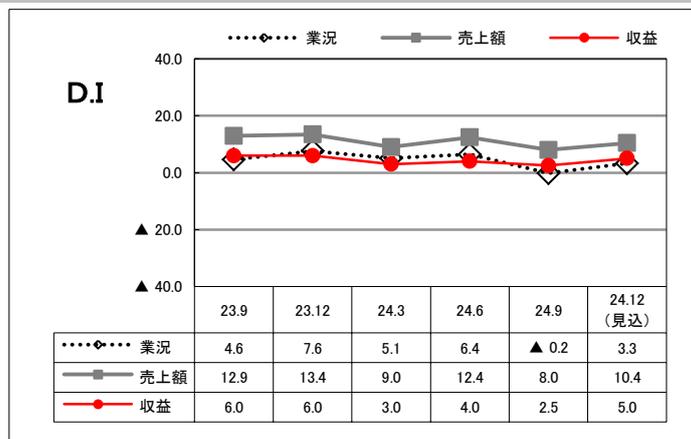
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲0.2、前期比6.6ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.8）と厳しさを強めました。業種別では、不動産業において上向きました。

来期予想D.Iは3.3、当期比3.5ポイントとプラスへ好転する見通しです。業種別では、不動産業以外の業種において、堅調に推移する見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは8.0、前期比4.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.9）と増加幅が縮小しました。業種別では、不動産業において増加傾向を強めています。

来期予想D.Iは10.4、当期比2.4ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、小売業において増加に転じる見通しです。

3. 収益

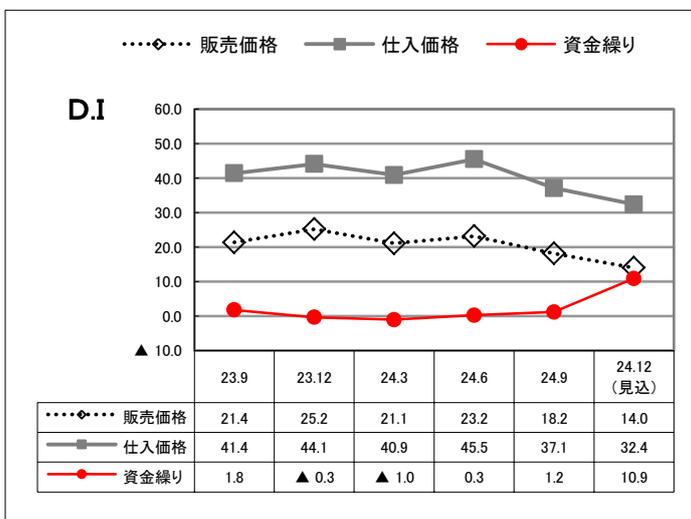
全業種における収益D.Iは2.5、前期比1.5ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.5）と増加幅が縮小しました。業種別では、不動産業において好調さを強める見通しです。

来期予想D.Iは5.0、当期比2.5ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、不動産業以外の業種において好転する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは1.2、前期比0.9ポイントプラス（前年同期比 ▲0.6）と容易になりました。業種別では、サービス業、建設業以外の業種において厳しさが和らぎました。

来期予想D.Iは10.9、当期比9.7ポイントプラスとさらに容易になる見通しです。業種別では、小売業、サービス業において窮屈感を脱する見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは18.2、前期比5.0ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.2）と上昇幅が縮小しました。業種別では、全業種において低下しました。

来期予想D.Iは14.0、当期比4.2ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは37.1、前期比8.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.3）と上昇が弱まり、落ち着きを見せました。業種別では、全業種において低下しました。

来期予想D.Iは32.4、当期比4.7ポイントマイナスとさらに落ち着く見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

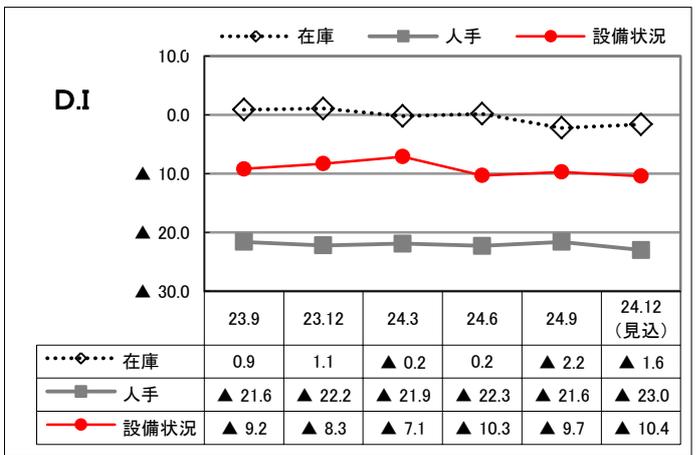
全業種における在庫D.Iは▲2.2、前期比2.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.1）と過剰から品薄へと転じました。業種別では、小売業において、品薄感・不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲1.6、当期比0.6ポイントプラスと不足感が改善する見通しです。業種別では、建設業において、在庫が積み増す見通しです。

8. 人手

全業種における人手D.Iは▲21.6、前期比0.7ポイントプラス（前年同期比 0.0）と不足感が改善しました。業種別では、製造業・小売業・サービス業・不動産業において、不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲23.0、当期比1.4ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、不動産業以外において不足感が強まる見通しです。

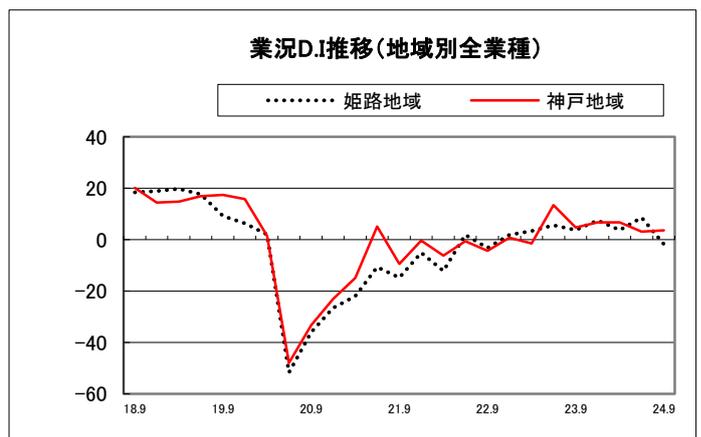
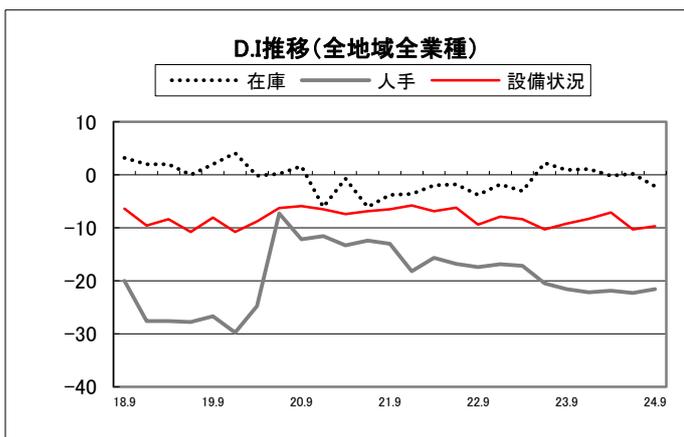
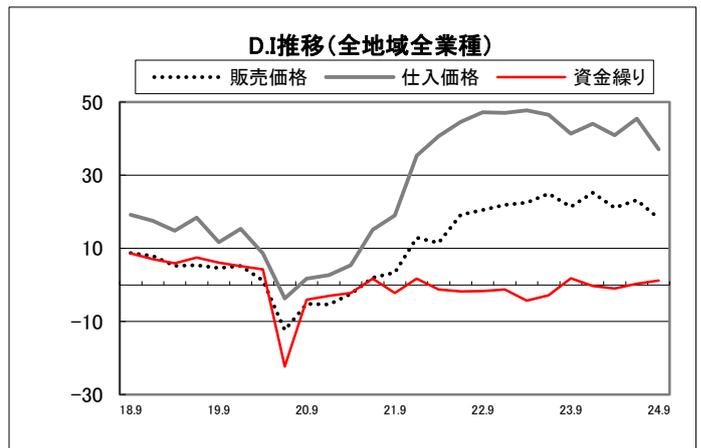
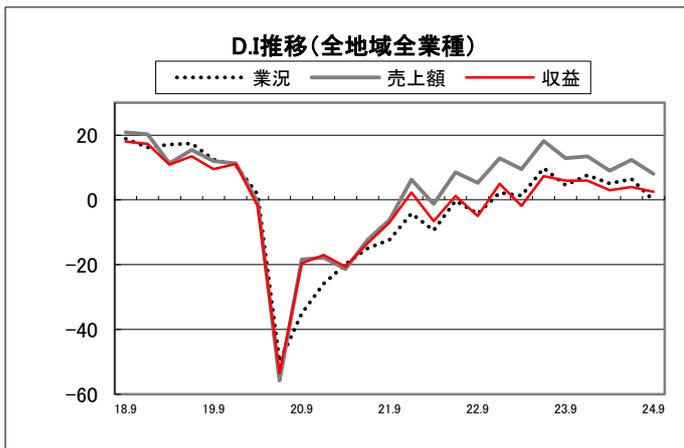


9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲9.7、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比 ▲0.5）と改善しました。また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は31.7%、前期比0.0ポイントプラス（前年同期比+1.8）と増加しました。業種別では、小売業、サービス業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は34.9%、当期比増加3.2ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移

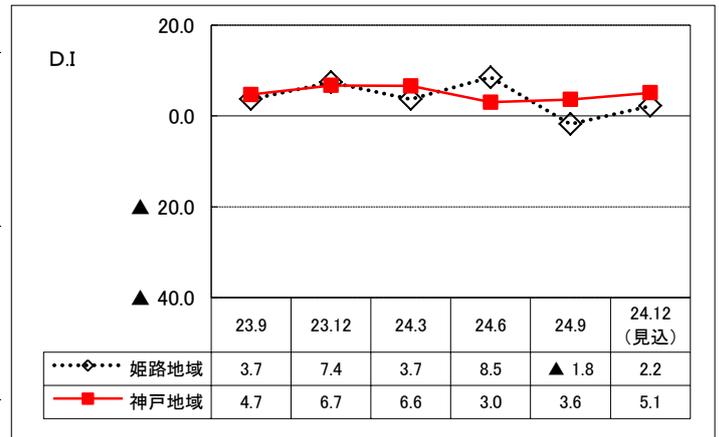


1. 業況

姫路地域の業況D. Iは▲1.8、前期比10.3ポイントマイナス (前年同期比 ▲5.5)と厳しさを強めました。来期予想D. Iは2.2、当期比4.0ポイントプラスと好転する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは3.6、前期比0.6ポイントプラス (前年同期比 ▲1.1)と前期を上回りました。来期予想D. Iは5.1、当期比1.5ポイントプラスとさらに回復に向かう見通しです。

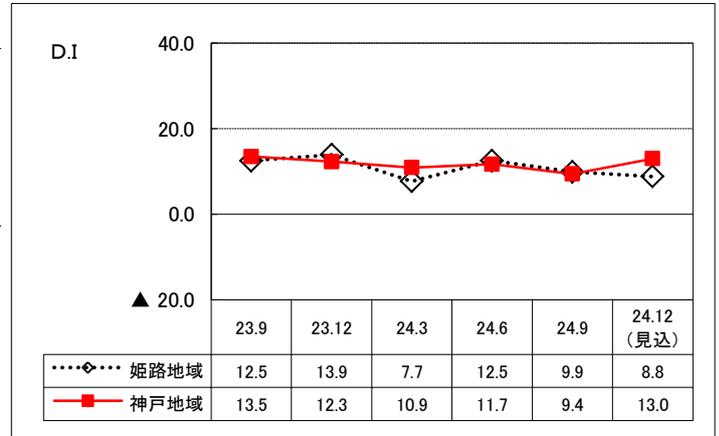
当期の地域別業況は、姫路地域では厳しさを強め、神戸地域では前期を上回りました。



2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは9.9、前期比2.6ポイントマイナス (前年同期比 ▲2.6)と増加幅が縮小しました。来期予想D. Iは8.8、当期比1.1ポイントマイナスとさらに伸び悩む見通しです。

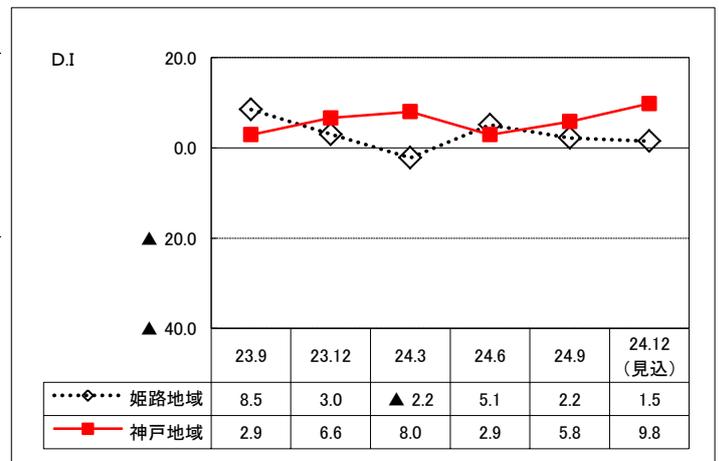
神戸地域の売上額D. Iは9.4、前期比2.3ポイントマイナス (前年同期比 ▲4.1)と増加幅が縮小しました。来期予想D. Iは13.0、当期比3.6ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。



3. 収益

姫路地域の収益D. Iは2.2、前期比2.9ポイントマイナス (前年同期比 ▲6.3)と増加幅が縮小しました。来期予想D. Iは1.5、当期比0.7ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは5.8、前期比2.9ポイントプラス (前年同期比+2.9)と好調さを強めました。来期予想D. Iは9.8、当期比4.0ポイントプラスとさらに堅調に推移する見通しです。

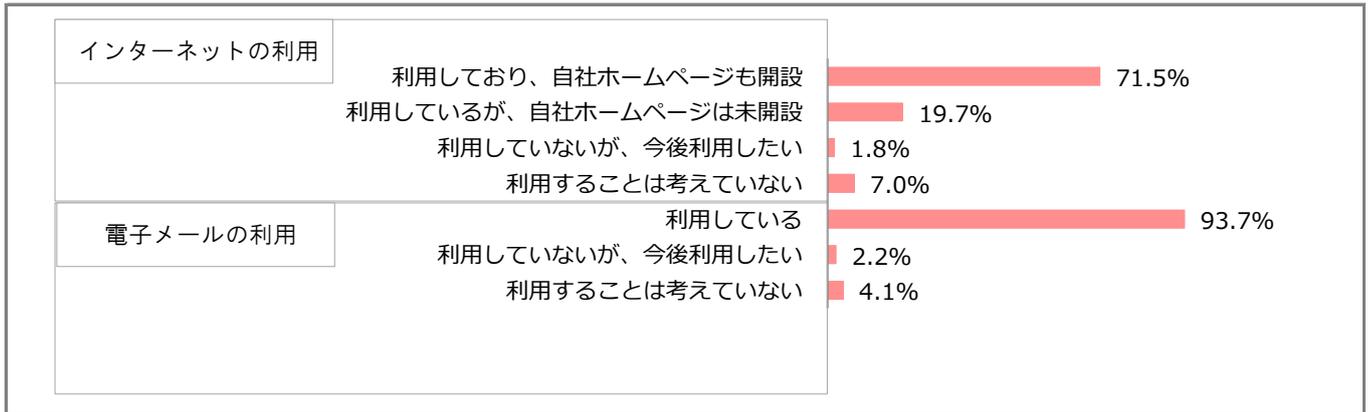


「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」

回答により合計が100%にならない場合があります。

問1

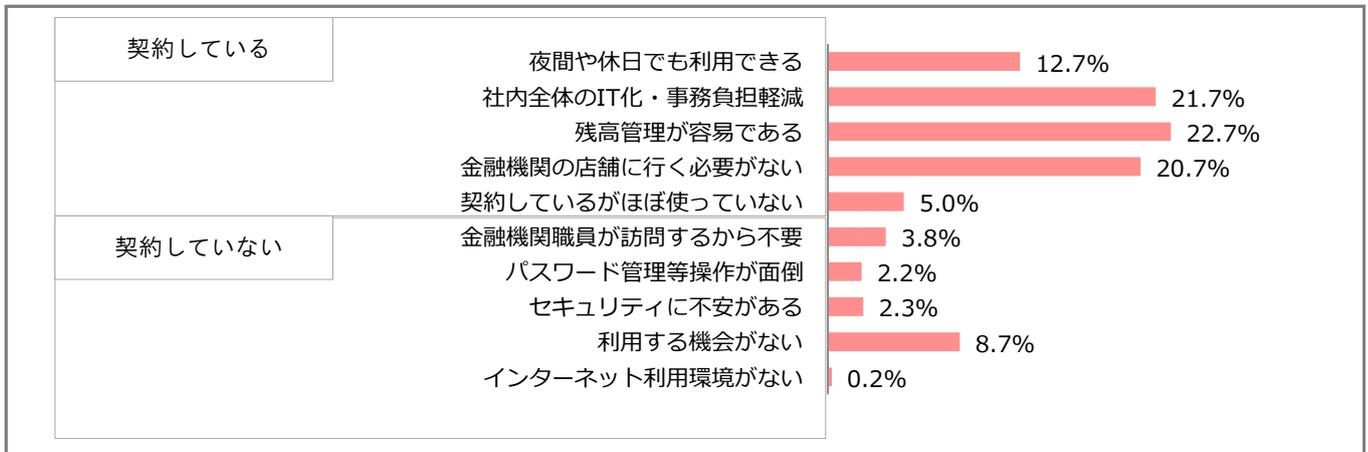
貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。以下の1～4の中から1つ選んでお答えください。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。あてはまるものを以下の5～7の中から1つ選んでお答えください。



情報収集・発信等におけるインターネットの利用について「利用しており、自社ホームページも開設」が最多回答、電子メールの利用については「利用している」が最多回答でした。

問2

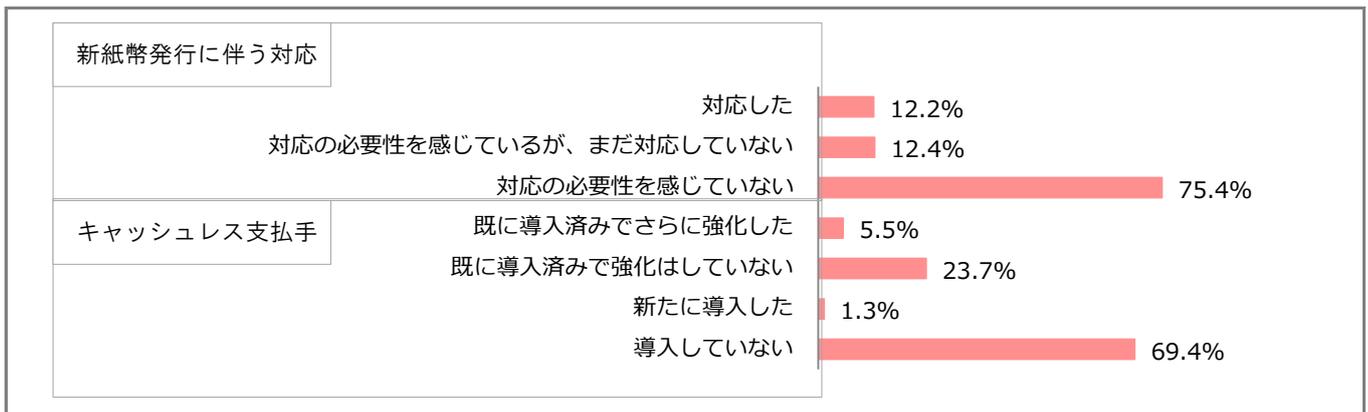
貴社では、インターネットバンキングを契約していますか。契約している方は、契約している主な理由または状況を1～5の中から1つ選んでお答えください。契約していない方は、契約していない主な理由を6～0の中から1つ選んでお答えください。



インターネットバンキングの契約理由について「残高管理が容易である」が最多回答、契約していない理由については「利用する機会がない」が最多回答でした。

問3

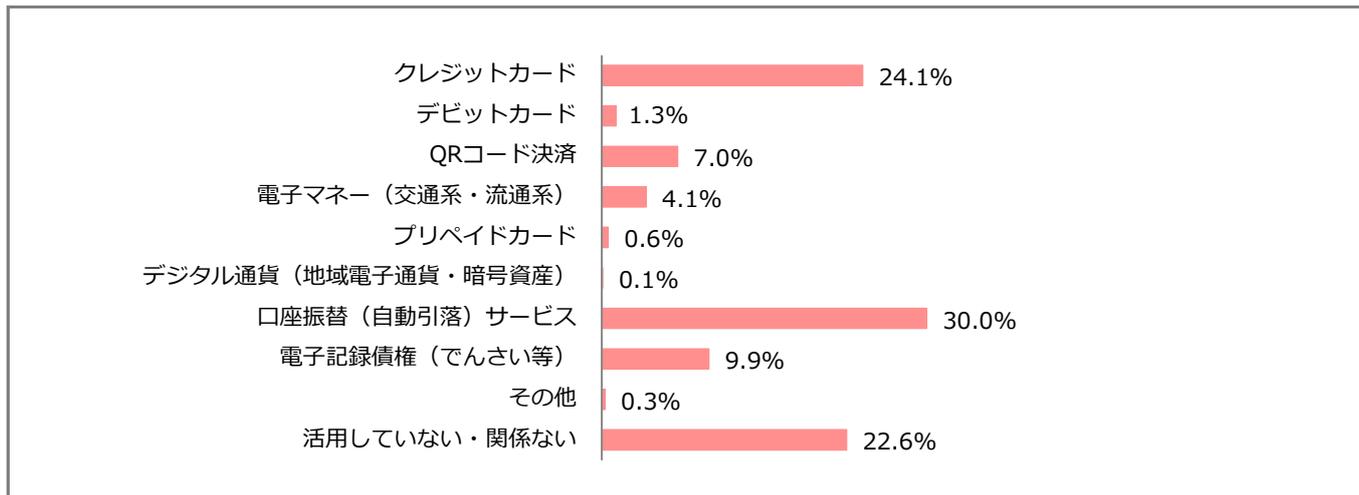
7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応（設備投資など）を実施しましたか。以下の1～3からお答えください。また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。以下の4～7からお答えください。



新紙幣発行に伴う対応について「対応の必要性を感じていない」が最多回答、キャッシュレス支払手段については「導入していない」が最多回答でした。

問4

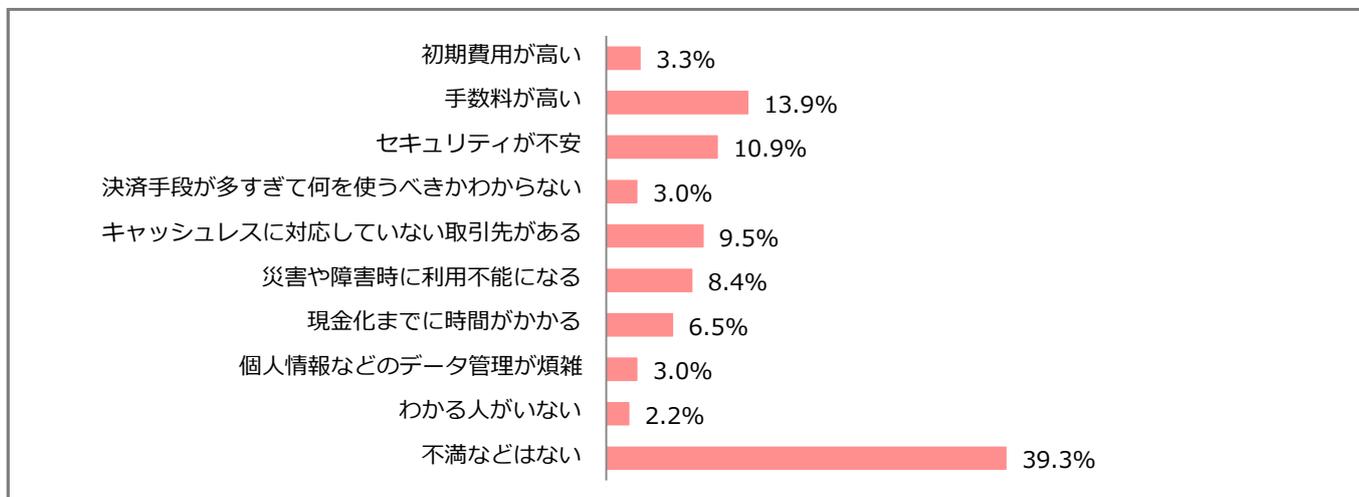
貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段を以下の1~9の中から3つ以内で選んでお答えください。活用していない方は0とお答えください。



キャッシュレス支払手段について「口座振替(自動引落)サービス」が最多回答でした。

問5

問4の1~9で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方は導入していない理由を以下の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。



キャッシュレス支払手段への不満・導入していない理由について「不満などはない」が最多回答、次いで「手数料が高い」「セキュリティが不安」という結果でした。